

学校教育目標 「自律・協力・挑戦」

# 千代 ゆう ぎ の き 宥座之器

《学校だより》 第6号

令和6年10月31日発行

小田原市立千代中学校

校長 中村 栄江

## 後期の活動がスタート

3年生の進路決定に向けた取り組みも本格的になり、学校を支える役割が3年生から2年生へ交代しています。マラソンに例えると、ちょうど折り返し地点というところ。実はこの地点、今までの走りを振り返り、前半楽に走れたのはどこが良かったのか、苦しかったのはなぜか、ここからどう立て直すかを考える大事なポイント地点なのだそうです。ここで決断を誤るとゴールすら危うくなるとのこと。これは、学校生活においても同様です。大きな行事を終え、中だるみと言われるこの時期をどう過ごすか。仲間と協力しながら様々なことに挑戦し、自分を律することのできる千代中生であってほしいものです。



## 飛翔祭（文化活動発表会）自律・協力・挑戦！



10月3日(木)飛翔祭 ステージの部が小田原市民ホール(三の丸ホール)で、そして17日(木)～25日(水)の学校公開週間には、校内で展示の部の発表が行われました。

学校ホームページでも写真とともにお伝えしましたが、子どもたちの日ごろの取り組みが成果となって見事に表現された発表となりました。特に3年生の姿は、最高学年として素晴らしく、千代中の伝統は間違いなく1、2年生に引き継がれたものと思います。

子どもたちの見守り、受付など保護者の皆様には細やかなサポートをいただきました。多くの方のご協力、ご参観ありがとうございました。子どもの力はまさに無限大。思春期真っただ中の子どもたちは、身近な大人に対してそっけない態度をとることもありますが、どこかで見てほしい、近くにいてほしいと願う気持ちも持っています。(保護者の方もご経験があるのでは…) 至らない点多々あるかと思いますが、今後も子どもの健やかな成長を願う大人同士、ともに見守ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。



## 飛翔祭ステージの部「生徒反省アンケート」の記述から抜粋

3年生が吹奏楽部の演奏に合わせて手拍子を始めて、全体を盛り上げていて行動力がすごいと思いました。来年は、飛翔祭が最後なので、今回の3年生の印象に残った合唱のように、自分が歌えるよう練習はもちろん、工夫したいと思った一番の山場を自分がどう歌いたいかを考えて楽しみたいと思いました。

自分は指揮をやるつもりは最初なかったけど、先生に「やってみたら」と言われて「指揮をやってみよう！」と思ったのが学校教育目標の「挑戦」なのかなと思う。練習では、時々ふざけている人もいたけど、最後はみんなまじめにやっていたのですごい良かった（「協力」できた）と思う。

合唱は、声量だったり強弱が3年生はすごいよかったから、そういった3年生のすごかったところを来年できたらいいなと思う。練習時間がもう少しあるといいと思う。

体育館で行った学年内リハーサルが印象に残った。リハーサルでは、他クラスの合唱を生で聞くのが初めてで、どのくらいの歌唱力か、ハモリはきれいかなどとても楽しみにしていた。自分たちも初めての発表で、緊張して声の大きさが小さくなったらそこを本番までの課題にして練習できる良い機会になった。

1年生は来年は二番目の飛翔祭だから、今年の課題を生かすチャンス。今年はだめだったな、もっとこうすればよかったと思うなら、2年になってカッコいい歌を会場に響かせてください。

2年生は、最後の飛翔祭で一番思い出に残るから緊張なんかしてられない。カッコいい歌声、きれいな歌声、美しいハモリ、すべての思いを最後の曲に込めて練習以上の成果が出せるように精いっぱい歌ってください。

## 第2回学校運営協議会 開催



10月29日（火）第2回学校運営協議会が行われました。

委員の方には授業の様子と校内の展示を見ていただき、子どもたちが落ち着いて生活している、あいさつがよくできる、学年ごとの成長の様子がうかがえるとお言葉をいただきました。

また、学校より千代中学校グランドデザインをもとに「知・徳・体・地域との連携」を柱とした取り組みの重点についてお伝えし、後期以降の学校運営についてご助言や感想をいただきました。

委員の皆様、ご多用の中ありがとうございました。